



# 高小だより

津市立高茶屋小学校  
令和3(2021)年11月

November

## 全国学力・学習状況調査の結果について

5月に行われた全国学力・学習状況調査の結果が、8月末に発表されました。昨年度は、コロナの影響で実施されませんでしたから、2年ぶりの実施となりました。本調査は、国語、算数・数学の2教科を対象とした教科調査以外に、児童生徒向け、学校向けの質問紙調査も行われています。児童生徒向けの質問紙調査には、早寝早起きあさごはんなどの基本的な生活習慣を尋ねる質問や、規範意識、自己肯定感などについて尋ねる質問が含まれています。質問紙調査の結果と学力との相関についても国の調査結果として公開されています。



結果については、全国的な傾向として、学力の底上げ傾向が続いており、毎年、地域差の縮小が進んでいます。右の表は、全国、三重県、津市の平均正答率を比べたものです。新聞などのマスコミでも報道があったように、今年、県と津市は同じ水準で全国を上回ることができませんでした。

	国語	算数
全国	64.7%	70.2%
三重県	64	69
津市	64	68

さて、高茶屋小学校の結果ですが、残念ながら津市や三重県の平均には届きませんでした。しかし、校内の研修で国語科を研究してきたことや、算数科で習熟度別クラスによる指導を進めてきた結果、成果は徐々に出てきており、進展も見られます。今後も引き続いて研究を進め、指導法の工夫・改善等を図っていきたいと思います。

## 高茶屋小の特徴 『国語』では

校内の研修で「子どもたちの書く力を高める取組」の研究を進めてきました。「資料を用いた目的を理解する問題」と「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する問題」については、三重県平均を上回っていました。しかし、これまでも本校の課題であった「文中の主語述語の関係をとらえる問題」や「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う問題」、「条件に合わせて記述する問題」は、無回答率も多く、全国平均を大きく下回りました。日頃より文章を書くときに、正しく漢字を

三 丸山さんは、「文章の下書き」を読み返しています。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1) 丸山さんは、習っている漢字がひらがなになっていた——部ア、ウ、エを漢字に書き直すことにしました。

次の——部アを漢字で書いていねいに書きましょう。

みなさんは、休み時間後の校庭にボールが残されたままアころがっているのを見かけたことはありませんか。

次の——部ウを漢字で書いていねいに書きましょう。

また、遊具置き場では、一輪車や竹馬が決められた所に置かれず、すみの方にウツム重ねられています。

次の——部エを漢字で書いていねいに書きましょう。

かたづけが終わったり時間がなくてかたづけられなかったりすることが、エげんいんののだと思います。

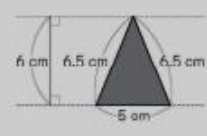
使ったり、目的意識をもって書いたりすることが大切であると考えます。また、主語のある文章で話したり書いたりすることも意識させていきたいです。

## 高茶屋小の特徴 『算数』では

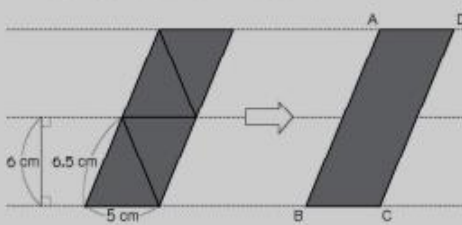
算数では、残念ながら全国平均を上回る問題はありませんでした。特に、右の問題のように答えの求め方の説明を記述する問題は全国平均を大きく下回りました。四則計算の技能はある程度身に付けているものの、なぜその式を使って問題を解くのか、その式が意味することを説明するということに課題があることが明らかになりました。特に図形と割合において課題があります。

このことは、4年や5年の「みえスタディチェック」の結果にも出ていて、共通する課題であることもわかりました。

(3) 次のような二等辺三角形があります。



上の二等辺三角形を4つ使い、次のように、同じ長さの辺どうしを合わせて、平行四辺形ABCDをつくりました。



平行四辺形の面積の公式を使って、平行四辺形ABCDの面積を求めます。

辺BCを底辺としたときの面積の求め方を、式や言葉を使って書きましょう。そのとき、平行四辺形ABCDの高さをどのように求めたのかわかるようにしましょう。

また、平行四辺形ABCDの面積が何cm<sup>2</sup>になるのかも書きましょう。

## 高茶屋小の特徴 『児童質問紙』では

基本的な生活習慣において「毎日朝食を食べているか」「毎日、同じくらいの時刻に起きているか」の質問は、90%以上の方が肯定的な回答をしました。しかし、「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束をしたことを守っているか」の質問に、21.5%の人が「持っているが約束はない」と答えています。さらに「普段1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をするか」には、3時間以上が44.6%いました。気になる項目です。

「将来の夢や目標を持っている」と回答した人は、高かったです。が、「自分には良いところがある」と回答した人の割合は低かったです。さらに、「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができる」という質問に否定的な回答した人も40%いました。

授業についての質問では、多くの方が国語と算数の授業は大切であると考えていました。算数では、解き方が分からない時にあきらめずに取り組んでいたり、公式や決まりを習う時にそのわけも理解しようとしていたりする人がほとんどでした。



学校では、調査結果及びみえスタディチェックの結果分析をし、本校の弱みに対して全学年で授業改善に取り組んでいます。しかし、まだまだ十分でない部分や弱みも多くみられます。今後もより工夫を重ねながら指導してまいります。ご家庭でも家庭学習の支援等をよろしく願います。